

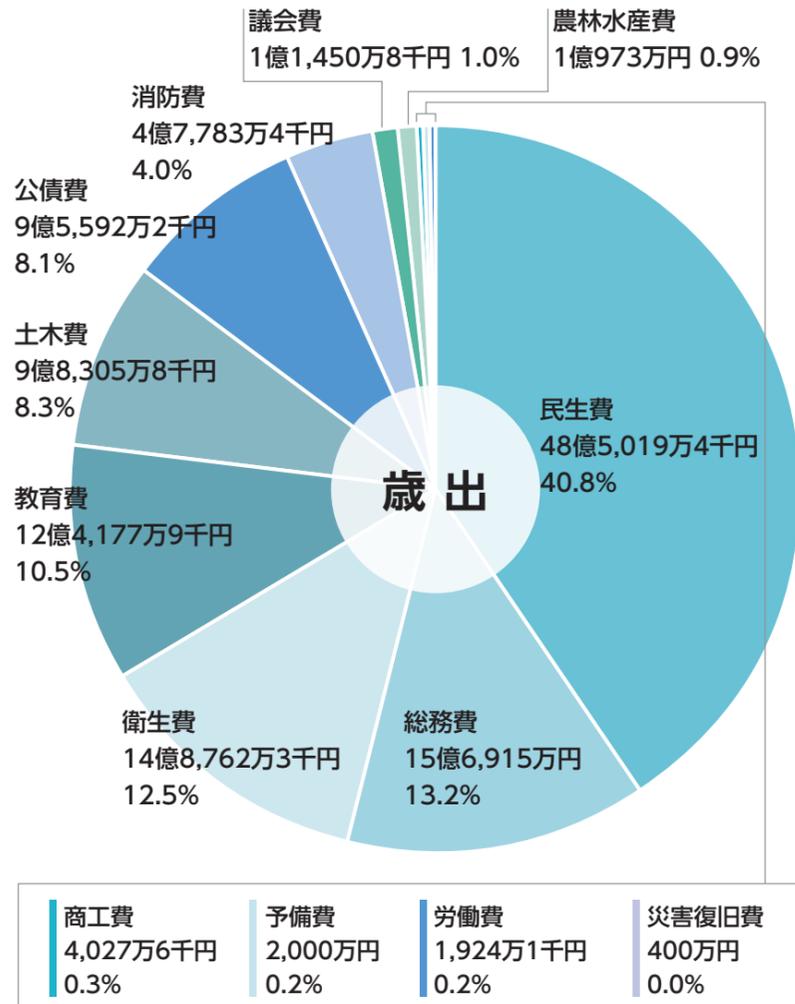
一般会計 歳出 118億7.331万5千円

一般会計	主な事業
総務費	庁舎トイレ等改修工事 4,919万2千円 議場や委員会室等改修工事 1,172万8千円 ふるさと宇美町応援寄付金運営経費 3億2,753万5千円
民生費	ハピネス号の運行 3,959万3千円 障害者自立支援給付事業 5億8,089万3千円 介護予防普及啓発事業 2,607万8千円 後期高齢者医療 5億8,215万5千円 町内保育園の運営 2億3,480万4千円 民間保育園・認定こども園等の運営費負担金 8億2,854万1千円
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億9,856万9千円 小児基本健康診査(うみっ子健診)業務 313万6千円 各種予防接種 1億152万9千円 ごみ処理など 5億9,566万5千円
農林水産業費・商工費	農業の基盤保全事業 3,406万8千円 商工業活性化事業 1,210万5千円
土木費	道路や橋の維持管理 2億1,386万3千円 志免宇美線の整備 8,196万7千円 公園管理・整備 1億1,849万6千円
消防費	土砂災害ハザードマップ改訂版作成業務 547万9千円
教育費	ICT支援員派遣 1,188万円 学習支援員及びスクール・サポートスタッフ配置 1,080万円 幼児教育無償化に伴う給付金 1億7,274万9千円 町立図書館資料整備・電子図書館等運用業務 1,772万8千円
公債費	町債の償還 9億5,592万2千円

一般会計 目的別歳出の状況

目的別歳出では、民生費が48億5,019万4千円(前年度比274万1千円増)で全体の40.8%という高い割合を占めています。民生費の増加の要因は、年々増加している障害者福祉費や後期高齢者医療費の負担金の増加が挙げられます。

2番目に高い割合を占めているのが、総務費の15億6,915万円で、全体の13.2%を占め、民生費と総務費で予算総額の半分以上を占めています。



特別会計 特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計

会計名(事業名)	令和3年度	令和2年度	比較
国民健康保険特別会計	38億9,263万8千円	40億6,146万4千円	△1億6,882万6千円
後期高齢者医療特別会計	4億7,748万8千円	4億5,893万1千円	1,855万7千円
合計	43億7,012万6千円	45億2,039万5千円	△1億5,026万9千円

公営企業会計
自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計

上水道事業会計

収益的収支 (水道事業の経営活動に伴い発生する収支)	
収益的収入	7億9,709万円
収益的支出	7億5,435万7千円
資本的収支 (施設建設などでの収支)	
資本的収入	5,127万2千円
資本的支出	2億8,742万9千円

流域関連公共下水道事業会計

収益的収支 (下水道事業の経営活動に伴い発生する収支)	
収益的収入	9億7,004万4千円
収益的支出	8億9,430万円
資本的収支 (施設建設などでの収支)	
資本的収入	5億6,110万5千円
資本的支出	8億3,649万6千円

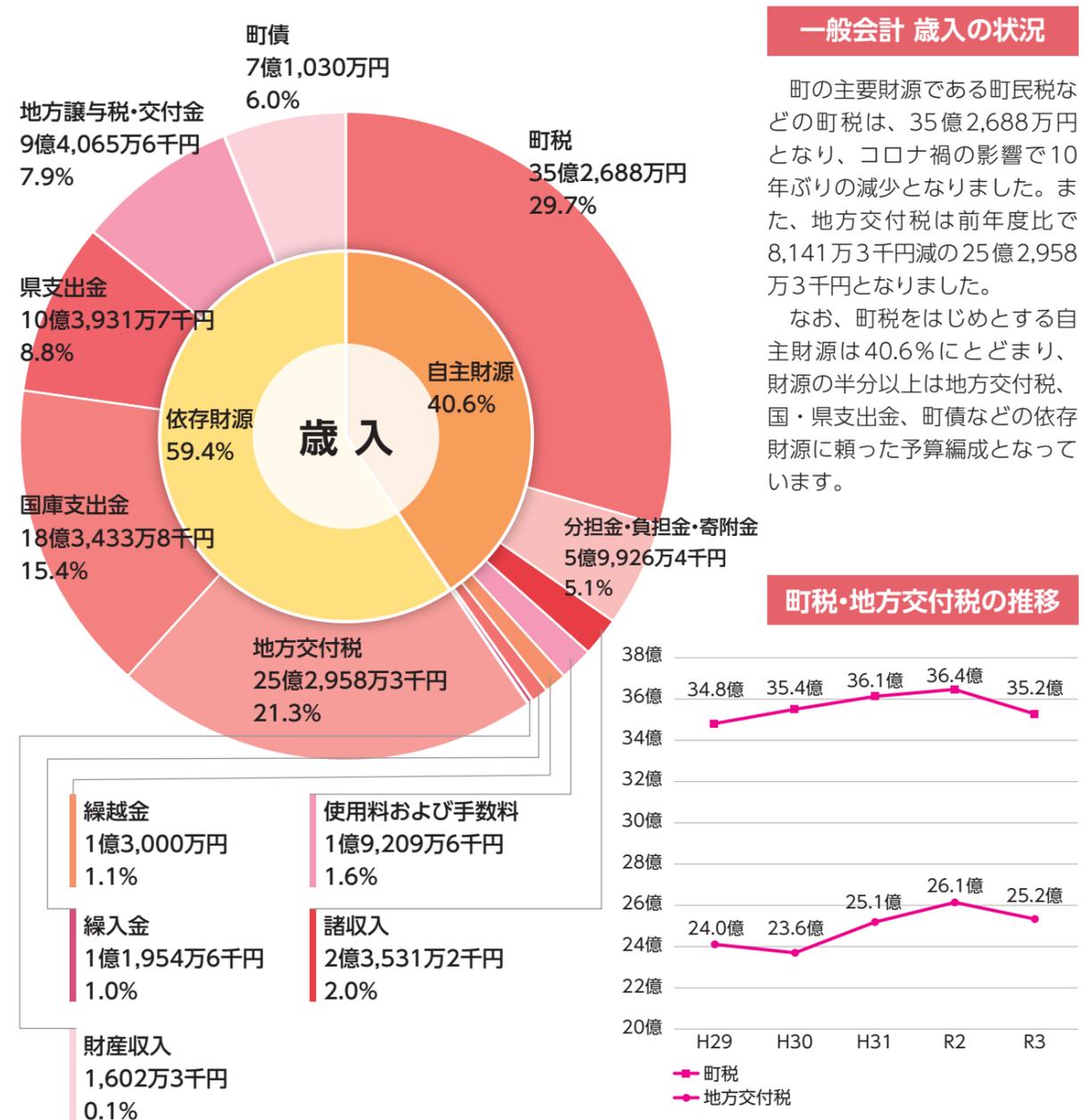
令和3年度宇美町
当初予算

問 財政課 財政係
☎934-2247
FAX933-7512(代)

令和3年度の一般会計・特別会計(国保・後期)および公営企業会計(上水道・下水道)の当初予算が、3月19日(金)に町議会の議決を経て成立しました。

一般会計当初予算は、前年度比8,531万7千円減の118億7,331万5千円となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響で税収の大幅な減を見込んだ予算となっています。前年度に引き続き、感染状況を注視しながら効率的・効果的な行政財政運営に努めていきます。

一般会計 歳入 118億7.331万5千円



一般会計 歳入の状況

町の主要財源である町民税などの町税は、35億2,688万円となり、コロナ禍の影響で10年ぶりの減少となりました。また、地方交付税は前年度比で8,141万3千円減の25億2,958万3千円となりました。

なお、町税をはじめとする自主財源は40.6%にとどまり、財源の半分以上は地方交付税、国・県支出金、町債などの依存財源に頼った予算編成となっています。

町税・地方交付税の推移

